

## よくある質問と回答

**問 虫(うじ虫・コバエ)がわいてしまいました。対処法を教えてください。**

**答** 以下の～を行うと、1週間程度でほとんど虫はいなくなります。  
 虫(うじ虫・コバエ)は水分が過剰だと発生しやすくなるため、生ごみの水分をよく切り、細かくちぎってから投入する。  
 虫が発生した場合は、乾いた土か腐葉土を入れてよくかき混ぜ、空気を十分に供給する。生ごみが隠れるように表面に土か腐葉土をかけ、ふたをする。  
 生ごみの水分が多いときは、天気の良い日にふたを開けて乾かす。  
 ハエ等が入らないように古布か寒冷紗等で投入口を覆う。  
 微生物は空気が大好きなので、空気不足にならないように、こまめに底からよくかき混ぜる。

**問 カビが生えてしまいました。対処法を教えてください。**

**答** カビ(白・青色等)が生えるのは良好に発酵が進んでいるので、そのまま特に問題ありません。

**問 うまく堆肥になりません。コツを教えてください。**

**答** 生ごみの水分は80%以上あります。そのままでは水分が多すぎて悪臭を発生しやすくなりますので、水分を下げるのがコツです。以下の4点に気をつけてください。  
 1、生ごみの水をよく切る(水分率60%程度、にぎった塊が崩れない位)。  
 2、生ごみを細かくカットする。  
 3、2、3日に1回程度、よく乾いた土や腐葉土、細かく切った枯草等を入れ、底からかき混ぜて空気を入れる。  
 4、雨天時は容器の中に雨が入らないようにふたをする。

**問 堆肥になるまでに、どのくらい期間がかかりますか？**

**答** 約16℃の気温で生ごみは分解します。  
 夏場は約1ヶ月程度で分解しますが、冬場は約3ヶ月程度かかります。

**問 薬剤がなくなりました。どこで購入すれば良いですか？**

**答** 薬剤は必ず使用しなければいけないものではありません。  
 使い慣れた方は、コーヒークサや米ぬか等を使用しています。  
 市販で購入する場合は、JAやホームセンター、インターネット等をご利用ください。

各リサイクルセンターでは、不定期で生ごみ堆肥化に関する講座等を開催しています。ぜひご利用ください。

関町リサイクルセンター(関町北1-7-14)	03-3594-5351
春日町リサイクルセンター(春日町2-14-16)	03-3926-2501
豊玉リサイクルセンター(豊玉上2-22-15)	03-5999-3196
大泉リサイクルセンター(大泉学園町1-34-10)	03-3978-4030

窓口での申込みは、各リサイクルセンター(上記参照)のほか、練馬区資源循環センター(谷原1-2-20)でも受け付けています。

# 生ごみコンポスト化容器あっせん

練馬区では、生ごみの減量やリサイクルの推進を目的に、生ごみコンポスト化容器のあっせんを行っています。



**申込要件** 練馬区に住所を有すること。

**申込方法** 別紙「生ごみコンポスト化容器あっせん申込書」に必要事項を記入し、担当あて郵送またはご持参ください。

**配送・支払** 区に申込書が到着後、約20日程度で取扱店から配送します。  
 (配送前に取扱店から配送日時についての電話連絡が入ります。)  
 商品を受け取り後、同封の郵便局払込取扱票でお支払いください。

**担当・郵送先**

〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1

練馬区 環境部 清掃リサイクル課 清掃事業係(区役所本庁舎18階)

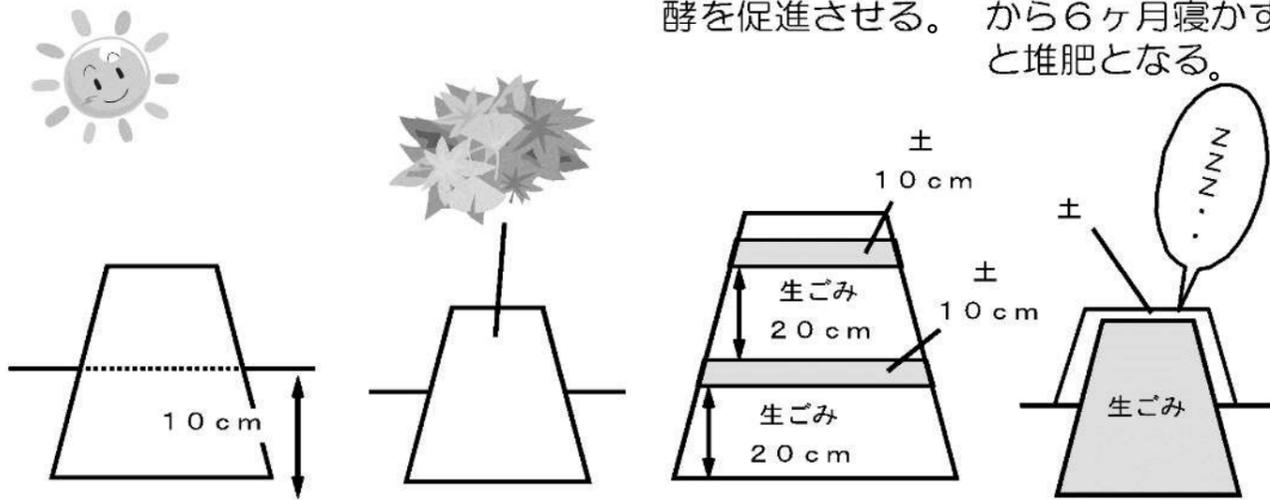
03-5984-1059(直通)

# 生ごみコンポスト化容器の使い方

各ご家庭で工夫を行って、堆肥化にチャレンジしてみてください！

## コンポスター（地上設置型）

- ①日当たりの良い場所に穴を掘り、容器を10センチほど埋め込む。
- ②生ごみを容器に投入する際、水分が多すぎる場合は落ち葉や草などを投入しよく混ぜる。
- ③厚さ20センチほどの生ごみに対し、土を10センチの厚さでかぶせると、生ごみの発酵を促進させる。
- ④容器が一杯になったら空け(未熟なものは省く)、その上に土をかぶせて、おおむね3から6ヶ月寝かすと堆肥となる。



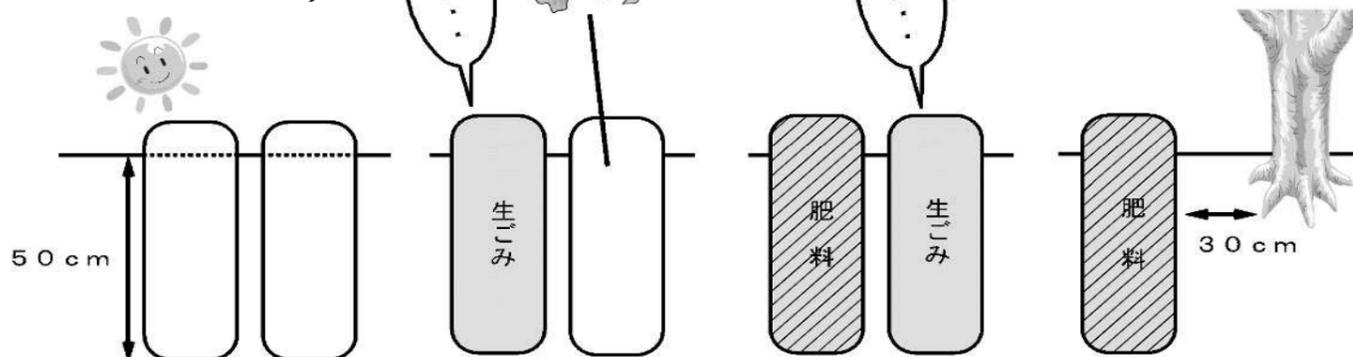
## EMサポート（屋内外兼用）（対象外）

- ①十分に水切りをし、細かくちぎった生ごみを容器に入れる(卵の殻は砕く)。生ごみ1キログラムに対し、10から20グラムの薬剤を入れ、混ぜる。
- ②ふたをしっかりと閉める。ガスでふたが膨らんだらガス抜きをし、底にたまった液肥もまめに抜き取る(液肥は500から1,000倍に薄めて作物等の肥料として利用できる)。
- ③①と②を約1週間繰り返した後、約1週間熟成期間として日陰で寝かせる。
- ④③の後、プランターなら上下に土を入れてサンドイッチ状に、庭等なら作物の根元から30センチ離して穴を掘って埋め、再度寝かせる。土の力で発酵・分解させ、約1ヶ月で肥料となる。



## ミラコンポ（地中埋込型）

- ①日当たりの良い場所に穴を50センチ掘り、容器2個(4個)を埋め込む。(周辺に作物がある場合は、根元から30センチ程離して埋め込む)
- ②生ごみを投入する。はじめの容器が一杯になったら、次の容器に入れる。
- ③生ごみは容器がいっぱいになってから、おおむね6ヶ月で分解され、肥料となる。
- ④そのまま土中に埋め込んでおくと周辺の作物に栄養分として吸収される。また、底から取り出して使用することもできる。



## うまく堆肥（たいひ）を作るポイント ~ちょっとしたコツをご紹介~

共通のコツは「生ごみを容器に入れる前によく水切りをする」「定期的によくかき混ぜる」ことです。

### ●地上設置型・地中埋込型の場合

- 空気を好む菌によって生ごみを分解するため、毎日必要ありませんが、こまめに混ぜましょう。堆肥を熟成させている間も時々混ぜることで、熟成時間が短縮されます。
- 土や枯葉等を交互に混ぜると発酵しやすくなります。
- 日あたり、水はけの良い場所に設置しましょう。

### ●屋内外兼用型の場合

- 空気がないところを好む菌によって生ごみを分解するため、きちんとふたをしましょう。
- 液肥がたまったらこまめに抜き取り、早めに使いましょう。
- 腐りかけた生ごみを入れると、微生物が分解する前に腐敗し、臭いや虫がわく原因になります。その都度新鮮な生ごみを入れましょう。
- 生ごみを入れる度に薬剤(発酵促進剤)を入れてよく混ぜ合わせましょう。コーヒーかすや米ぬかを入れるのもおすすめです。
- できあがったぼかしあえ(注)は庭やプランターで土と交互に混ぜて、1ヶ月以上熟成させてください。ぼかしあえと土の割合は1:2です。

(注) ぼかしあえ…生ごみに薬剤(発酵促進剤)を混ぜて一次発酵してぬか漬け状態になったもの

